

とんがらし通信

ケサランパサラン

捕まえた...?



No.259



～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・はたちを祝う会
- ・活動紹介（野菜の収穫・ピザトースト）
- ・Close-up！
- ・職員コラム ほか

仙 台 つ ど い の 家 編 集 室
発 行 責 任 者 山 口 収

発 行 日 2 0 2 2 年 9 月 2 5 日

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16

Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752

E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp

ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



日英的国葬事情…意外に知らないお葬式の話 の巻

前号のとんがらし通信でも触れましたが、安倍晋三元総理が参院選の応援演説中に銃撃され死亡するという痛ましい事件が起きてから2か月。この間、その弔い方に関して大きな動きがありました。すなわち、岸田総理は国会での議論を踏まえることなく『国葬』を行うことを閣議決定したのです。国葬を行う理由を岸田総理は『総理大臣を憲政史上最長の8年8か月務めたこと』、『外交・経済など様々な分野で歴史に残る業績を残したこと』、『諸外国から敬意と弔意が示されていること』、『選挙活動中の非業の死であり、暴力には屈しない国としての毅然たる姿勢を示すこと』と説明していますが、国葬実施の是非について最新の世論調査では賛成38%に対して反対は51%と、半数を超える世論が国葬実施に『否』を唱えている状況です。

そもそもお葬式って何のために行うのでしょうか。日常の中で常にお葬式のことを考えている人はあまりいませんよね。だからお葬式のことには知らないことだらけ…経験して初めて知ることばかりです。私の祖父母はともに大学病院に『献体』をしていたので、亡くなった後は医学生たちの解剖実習等に身体を捧げ、1年後にお骨で戻ってきました。そのため数年前に父を亡くすまで、私はお葬式のことを何も知りませんでした。故人を供養して葬ることがお葬式だと単純に思っていたのです。。父の時には臨終には立ち会えませんでした。遺体の安置から湯灌・納棺、通夜、告別式、火葬、収骨、納骨…と一通りの流れを経験してみて、お葬式の本当の意味を感覚的に知りました。お葬式とは単に故人を供養するだけではなく『身内や親しい人が死の現実を受け入れるための段取り』という重要な意味があるのだということが、母や姉を見ていてよく分かりました。元気だった父が、突然の入院から坂道を転げ落ちるように容態が悪くなりあっという間に逝ってしまったことを、直後には母も姉も現実のこととして受け入れられませんでした。まるで実感できないままに遺体を清拭して安置し。湯灌の際には美容師をしている姉が洗髪をしてやり。皆で棺に納め。通夜・告別式で読経を聞き。生花を飾った棺をくぎ打ちし。出棺・火葬・お骨上げ…一つひとつの儀式を経ていくごとに、二人が死を実感し受け入れていく様を目の当たりにしたのです。。普段私は無宗教ですが、こうした段取り一つひとつを通して、遺族に実感と覚悟をもたらす仏式の葬送に救われた思いがしたものです。

もうひとつ。私の祖父は太平洋戦争の折、インドネシアのハルマヘラ島での爆撃で失明して復員してきましたが、その祖父は毎日朝夕に欠かさず仏壇に向かって般若心経を唱えていました。祖父母とは離れて暮らしていましたが、夏休みなど泊まりがけで遊びに行ったときは、私も姉も祖父の隣で一緒に拝むのが習慣でした。姉などは般若心経をそらで覚え、いっばしに抑揚をつけて唱えたりしていたものでした。さて、お葬式にも欠かせないこのお経。どういった意味があるのでしょうか。お経は人々が幸せでいられるように、お釈迦様の教えをまとめたものです。お釈迦様は29歳で出家後、35歳の時に悟りを開き、以来あらゆる場所で多くの人に自らの教えを説いて回ったと言われていました。口伝で説かれた教えを、後に多くの弟子たちが集まり、取りまとめられたのがお経というわけです。苦行や座禅を通して心の苦しみと向き合ってきたお釈迦様が、生きている人々に伝えたアドバイスのようなものなのです。ですから通夜や告別式の際にお坊さんがあげるお経は、故人の供養という意味もさることながら、残された人々の心を癒し今後の生き方を導くためのものということができると思います。

こうして見てくると、安倍元総理の国葬にはどういった意味があるのかとまたまた疑問が深まってしまう。そもそも岸田さん、『安倍元総理の葬儀は国葬で執り行う』と言った直後に決定プロセスや根拠法の指摘が出たとたん『国葬ではなく国葬儀であるから、内閣府設置法を根拠に閣議決定で可能』という後出しじゃんけんもどうかと思うし。。ともあれ日本でこんなゴタゴタが起こっている同じ時に、イギリスではエリザベス女王の逝去に多くの国民が美しい涙を流しているのを見ると、『なんだかなあ…』と思ってしまうのは私だけだろうか？(管理者 山口 収)

大野 夏海さん はたちを祝う会

9月8日に今年度二十歳を迎えられた大野夏海さんの『はたちを祝う会』を開催いたしました。大野夏海さんが、仙台つどいの家に通われてから1年半。私たちの知っている夏海さんは、よく泣いたり笑ったり表情豊かで、可愛らしい見た目ですがとても芯の強い女性です。そんな夏海さんがこれまでどんな人生を歩んできたのか、当日どんな表情を見せてくれるのかワクワクしながら準備を進めていきました。

そして当日。パープルのドレスを着て少し緊張した様子の夏海さんがご両親と一緒に入場しました。挨拶が終わり、お世話になった方々からのお祝いメッセージ、夏海さんの生い立ちの映像へと進みます。夏海さんの生い立ち動画上映では、まんまるお顔の赤ちゃん時代からどんどん大人になりキリッとした表情の学生時代の写真が流れ、参加者のみなさんもしみじみとスクリーンを見つめていました。お父さんからのお手紙では、これまでのどのような想いで成長を見つめてきたか綴られており、胸が熱くなりました。

2部では、夏海さんの元気なイメージに合わせ、マリンバ&ピアノユニット、マリンピアのお二人によるミニコンサートを行いました。普段はなかなか近くで聴くことのないマリンバの音色と美しいピアノのハーモニーに会場は盛り上がりました。マリンピアさんの温かい演奏に夏海さんもうっとりした表情でした。夏海さんが、また良い思い出の1ページが増えたなあと思ってくれたらうれしいです！
(記：安藤)

☆お父さまからのお手紙を抜粋させていただきました↓

夏海へ

成人の日おめでとう。こんなに大勢の方々に祝福されて父さんもうれしいです。いつも夏海の周りにはいろいろな人が笑顔で寄り添ってくれていましたよね。

最近、記憶力に自信がなくなってきた父さんでもはっきりと覚えていることがあります。それは仙台へ引っ越してきて通い始めた「なのはなホーム」でのこと。2か月ほどたった6月の日曜日に父親参観があり、園長先生は座談会のあと「そっと子供たちを覗いて見て下さい」とお父さん達を子供たちの様子が覗ける場所まで案内してくれました。父さんはガラス戸越しに中を覗いて見ると、夏海はお友達の真ん中にちょこんと座り、周囲を見渡して満足そうな表情をしていましたよね。お母さんの背中におんぶされたまま下に降ろそうものなら火が付いたように大泣きしていた夏海とは思えず、みんなと打ち解けている姿に目頭が熱くなりました。今でもその光景を思い出すと涙が出ます。

夏海が毎日通っている「つどいの家」はその名前の通りみんなが集まる家です。ということは利用者の皆さんとその御父兄の方々、そして支援者の方々は夏海の家族です。この家で過ごす年月は今迄の20年間より遥かに長い時間になると思います。この温かい家はずっと変わらず夏海を迎えてくれるはずで。ですからこの家で思う存分笑って、泣いて、怒って、そして家族との楽しい時間を過ごしてください。

夏海、夏海はかけがえのない宝です。父さんは夏海が泣いているときは悲しくなり、夏海が怒っているときは不機嫌になるような駄目おやじだけど夏海を大事に思う気持ちは誰にも負けないと思っています。これからも元気でお日様のような笑顔を見せて下さい。



第二回アマビエ展 開催しました～

8月8日～12日、菊地愛子さん主催の展示会『アマビエ展』を開催しました。
今年で二回目となりましたが、『アマビエドールハウス』『アマビエ風鈴』『レトロな風景の
写真パネル』など愛子さんが活動中に頑張った力作を展示しました。

期間中は地域の方含めて沢山の人に来場していただきました！秋にはネコをモチーフにした
『バンバル展』を開催します。夢は大きく『メディアテークを借りて展示会を開きたい！』との
ことです！！これからも頑張って素敵な作品を作っていきましょうね！（記：松原）



8月8日～12日までのアマビエ展



- ① おねえさんアマビエ展を見学させて頂いて本当にありがとうございます。
私、とっても嬉しいです。
- ② 今年で2かきめのアマビエ展
秋はバンバル展♡
- ③ コロナがおわりきしたら、メディアテークのギャラリーホールで
アマビエアレンジ展を開きたいです。

世界にアマビエちゃんのハローが
とどきますように♡

バーベキュー
BBQを
楽しもう!!!



べる時は黙食で(汗)。久しぶりのバーベキュー大会はあっという間に過ぎて
しまいましたが、汗と焦げの匂いがしみつく夏の恒例イベントが少しだけ戻っ
てきた一日になりました(^^♪ (記：堀内)

8月17日(水)久しぶりに仙つ恒例のバーベキュー
大会を行いました。今年の夏も出来ないかな～?と思っ
ていましたが、第7波も落ち着きを見せはじめた頃合いを
見計らって、おそろおそろ開催!!当日は30℃を超える猛
暑日でもありましたが、朝からコンロの周りに火起こし隊
が集まっていると「何だかこの光景だけで懐かしいね」
「夏らしいね～」と声をかけてくれるお母さん方。

冷やし中華にフルーチェ、冷製ポタージュ等、涼しげな
メニューで彩るグループや、暑さに負けずフランクフルト、
海鮮串に挑戦して顔を赤らめながら焼いているグループ
など屋内外で、にぎわう声が響き、お昼にはズラリと様々
なメニューが並びました。ただし食

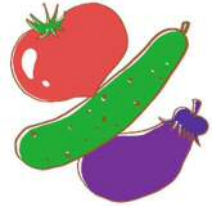


うんとこしょ！どっこいしょ！野菜収穫！

さんしょグループでは、今年も園芸できゅうりやトマト、ナス、ピーマン等など沢山の野菜やお花を育ててきました。初めは、なかなか大きくならなかったきゅうりやピーマンも急成長をとげ、沢山収穫することができました。収穫時には、さんしょメンバーがきゅうりにくくり付けた紐を「ヨイショ！ヨイショ！」と引っ張って収穫しました。まるで絵本の「大きなかぶ」のようでした。庄司篤史さんは、大好きなきゅうりが

沢山とれ、嬉しそうにニコニコ笑顔になっていました。杉山奈央さんは、トマトが大好きで、トマト果汁を味見すると、口をモグモグとさせて美味しそうに味わっていました。

収穫したピーマンは、給食で炒め物にして頂き、みんなで美味しくいただきました。自分達で頑張って育てた野菜の味は格別ですよ！今年は他グループも園芸に力を入れているので、きゅうりの漬物の味比べをしたり、トマトの甘さ比べをしたり、育った野菜を自慢しあったりと、とても楽しい園芸活動となりました。（記：佐藤唯）



もみじ特製トマトのピザトースト作り

もみじグループでは、今年度ミニトマトときゅうりを育てています。順調に大きくなり、気付けば30個以上に！みんなで話し合った結果、今回はピザトーストを作ることになりました。まずはミニトマトをフードプロセッサーにかけます。機械のブルブルという振動にみんなドキドキ＆ワクワク！火にかけながらピザソースを作ります。トマトを味わうためにトッピングは玉ねぎとチーズでシンプルに！みんなで手分けをして作業を進めていきます。チーズ担当の達紀さんは、パンをじーっと見つめながらパラパラと上手にチーズをふりかけていました。トースターでこんがり焼けば、完成です！

気になるお味は・・・トマトが濃くてとっても美味しい！皆さん「おかわり！」とどんどん手が伸びていき、あっという間になくなりました。5月頃からみんなで協力して育ててきたミニトマト。無事に美味しく食べることができてほっとしています。そしてまだまだ収穫できそうなので、次は何にして食べようかな？と、第2回収穫祭を楽しみにしているもみじグループなのでした♪（記：淡路）





インターンシップ in 仙台つといの家！

つといの家では学生向けのインターンシップを実施しています。今回は実際に仙台つといの家で 5 日間インターンシップに参加していただいた、東北福祉大学 3 年の早坂梨琴さんに感想を聞いてみました！

仙台つといの家でのインターンシップを通じて、本人の意思を尊重し、支援員の皆さんが同じ気持ちで利用者さんたちと生活していることが伝わり、だからこそ、皆さんが生き生きと活動できているのだと分かりました。

実際に支援体験をしてみて、初めて分かることが多くあり、意思疎通の難しさや支援の大変さとともに、嬉しさや感動を学ぶことができました。もみじの皆さんは食べるのが大好きで、一人一人の個性も強く笑い声が絶えることがありません。ま



た、喜怒哀楽が激しいということは、よく相手の声を聞いて、表情を見ているということなのだ分かりました。このようにコミュニケーションが取れるのは、日々利用者さんの近くにいる、職員の皆さんとの信頼関係があるからだと思います。

ケース会議にも参加させていただくことができ、支援員の皆さんの連携を直接見ることで本当に良かったです。このような会議をもとに、さまざまな活動を行い、利用者さん一人ひとりの目標を達成



できるようにサポートしているのだと分かりました。挨拶や、声をかけてくださった皆さんありがとうございました。5 日間という短い間でしたが本当にお世話になりました。(記：梨琴)



研修報告

アンガーマネジメント研修

8月4日（木）講師：アンガーマネジメント・人材育成コンサルタント 杉浦永子氏

○人間関係を良好にするコミュニケーション研修

自己理解、他者理解、相互理解

- ・コミュニケーションカードを使って自分や相手の行動特性の理解を深める。
- ・大きく 4 つのパターンに分かれる
- ・それぞれの特徴の人と良好な関係を築くコツを学んだ。

(参考：日本コミュニケーションカード活用推進協会)

○アンガーマネジメントの基本部分

ということだったので、聞いたことがある内容も多かったが、怒りをライターに例える話は分かり易くおもしろかった。理由があって怒っている、ガスの部分がマイナスの感情と状態。「〇〇すべき」で着火され、怒りの炎が燃える。

○マイナスの感情をため込まないで、しっかりリフレッシュ。自分のことを知って、許せるゾーンを広くして、多様性を認め、柔軟に受け入れられる姿勢を持つことが重要と感じた。(記：佐藤智)



べき

辛い、悲しい、苦しい、
孤独感、疲れた、ストレス、
怖い、心配、空腹、
焦り、不安、嫌だ、など

Close-up!

まつうら
松浦

かずや
和也さん



今回の Close Up はくるみグループの松浦和也さんです。

和也さんはパズルが好き、粘土が好き、プールに入るのが好き、
スケッチが得意（ぜひ、和也さんに声をかけて描いてもらってください）、
キャッチボールが好き（1対1で）、そして、お茶を飲むこと、おいしいものを食べることがとても大好きです。

今年の夏も暑かったですね、和也さんは暑いのが苦手なのかもしれません。

くるみグループの仲間に、かずやさん、かずくんと声をかけられると、とても嬉しそうな表情でうむうむと喜んでいきます。

『おはようございます』、『とてもおいしいですね』、『とても上手ですね』など、和也さんのそばで声をかけてみてください、うむうむとうなずきながら、とてもやさしい笑顔であなたの顔をじっとみつめることでしょう。

（記：佐藤亮）

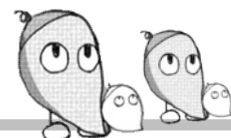
職員コラム

今回は・・・ **二階堂 幸(にかいどう みゆき)** さんです！

初めまして、今年度からお世話になっております、けやきグループの二階堂幸です。皆さんと一緒に内容の濃い日々を毎日過ごしています。

登米市出身で、実家には月に 1～2 回ほど帰っています。実家に帰ると、苗箱作りや田んぼを耕すのを手伝ったりして、帰ってくるときには、野菜とお米をもらって帰ってきます。親戚が集まった時には、BBQ をしてお昼過ぎあたりの時間から夕方まで、みんな好きなお肉を焼いて食べます。帰る時間になるとばあちゃんから『あれももってけ！これももってけ！』と手にいっぱい食べ物をもらってきます。最近は、ばあちゃんが自分の家まで送って来てくれて、嬉しいけど別れ際に寂しかったりします(;;)

皆さんは実家のご飯で思いつくものはありますか？私は、油麴丼やフライパンサイズのハンバーグなどきりが無いほど沢山思いついちゃいますが、何かおすすめの地元ごはんがあれば教えてください！



スケジュール schedule

令和4年 10月

- 3日(月) ケース会議
- 6日(木) 音楽療法
- 7日(金) 仙つ権利擁護委員会
- 13日(木) 生け花 医療的ケア安全委員会
- 14日(金) 防災ネットワーク訓練
フードドライブ
- 18日(火) 防災委員会
- 19日(水) 施設懇談会
- 20日(木) ケース会議
- 25日(火) 権利擁護・虐待防止委員会
- 26日(水) 法人・後援会共催上映会
- 27日(木) 職員会議 音楽療法 生け花



令和4年 11月

- 1日(火) 法人防災訓練
- 3日(木) 休日開館日(けやき)
- 7日(月) 仙つ権利擁護委員会
- 10日(木) 音楽療法
- 11日(金) フードドライブ
- 15日(火) 防災ネットワーク訓練
- 17日(木) 音楽療法
- 18日(金) 看護師連絡会
- 21日(月) ケース会議
- 24日(木) 施設懇談会
- 25日(金) 職員会議
- 30日(水) 内部研修

編集後記

9月に入ってから、厳しい残暑もなくなり大分過ごしやすくなりましたが、気温の変化で体調を崩さないようにしたいところですね。これからは食欲の秋と呼ばれる美味しい季節です。皆さんも美味しい食べ物を食べて秋を満喫しましょう！

(記：早坂)

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(7月13日～9月9日まで)

吉田さん、稲田さん、守屋さん、佐々木さん
稲田さん

見学・来訪者など

インターン早坂梨琴さん、武田楓花さん、大高生愛さん、千葉優花さん、音楽療法向井田先生、生け花浜谷先生、鶴谷支援学校の先生、各区分調査員の方、後援会針持会長、高橋副会長、西多賀支援学校の先生、小松島支援学校の先生、名和さん(見学)、有本さん(見学)、山影さん(見学)、滑渾(見学)、すてっぴ高橋さん、小松島支援学校さん、和妻さん、西園さん、鶴谷支援学校藤原江渡さん、菊地菜央さん、杜の都産業保健会、ヤクルト、アグリ仙台、ほまれフーズ、マルイ、マルキ水産、サトー商会、ダスキン、東北食材、千葉商店、まんさく工房、JCI、生活空間工房、バイタルネット、風の郷工房、アグリ仙台、マルゼン、ICT瀬戸さん、智香さん

法人職員：佐藤清理事長、大累、佐藤(吉)、飯田、門真、佐々木健、小原、高橋、古高、高嶋、片桐、福地、鈴木、小野

ほか多数(以上、ご芳名順不同)

缶回収

8月分の納品額

合計 6,000 円でした。

ご協力ありがとうございました。

